なつかしい記憶の想起が人らしさの知覚に与える影響

○中村 紘子¹・川口 潤²

(¹愛知淑徳大学・²名古屋大学)

キーワード：ノスタルジア, 擬人化, 社会的つながり

Effect of nostalgic memory on anthropomorphism

Hiroko NAKAMURA¹ and Jun KAWAGUCHI²

(¹Aichi Shukutoku Univ, ²Nagoya Univ)

Key Words: Nostalgia, Anthropomorphism, Social Connection

目 的

擬人化(anthropomorphism)とは人以外の対象に人らしい特徴があると知覚することである。Epley et al., (2008) は社会的つながりが欠如すると、人との関係を求め擬人化が促進されるとし、孤独感が強いほどガジェットを擬人化する傾向が強まることを示した。また, Bartz et al., (2016) は重要他者の想起などにより社会的つながりをブライムすると逆に擬人化が抑制されることを示している。

このように社会的つながりの欠如と擬人化の関係は検討されているが、想起された記憶の性質と社会的つながりが対象の擬人化に影響するかは明らかにされていない。なつかしい記憶 (nostalgic memory) は重要他者や社会的つながりについての内容を含むことが多く、孤独感を低減させることが示されている (Sedikides et al., 2015)。そこで本研究では、対象とのなつかしい記憶の想起が、対象との社会的つながりを感じさせ、対象への人らしさの知覚を促進するかを検討する。

方 法

実験計画: 記憶想起 (Nostalgia, Ordinary) * ターゲット (PC, Tree) の 2 要因参加者間計画

参加者: Crowd Flower で募集したアメリカ人 104 名 (男性 57 名, 女性 47 名, 平均年齢 = 37.7, SD = 13.2)。参加者には謝金として 1 ドルを支払った。

材料と手続き

実験は Qualtrics を用いてオンライン上で実施した。

1. 記憶想起課題: PC または Tree について、なつかしい出来事、または、日常的な出来事を想起し記述した
2. なつかしさ評定: 現在どの程度なつかしさを感じているかを 6 段階で評定した
3. 人らしさの評定: PC または Tree について、人らしい特徴 (mind, intention, free will, consciousness) をどの程度感じるかを、7 段階 (-3 ~3) で評定した
4. 心的距離: PC または Tree と自分自身との関係について、どの程度距離があるかを 7 段階 (1=近い~7=遠い) で評定した

結 果

Figure 1 に人らしさの評定の平均値と SD を示した。2 要因分散分析の結果、記憶想起の主効果 $F(1, 100) = 8.00, p = .006, \eta^2 = .06$ とターゲットの主効果 $F(1, 100) = 8.19, p = .005, \eta^2 = .06$ が有意であり、交互作用は有意ではなかった $F(1, 100) = 1.25, p = .266, \eta^2 = .002$ 。対象について

のなつかしい記憶を想起すると人らしさの知覚が促進されることが示された。

Figure 1. 人らしさの評定の平均値と SD

Figure 2 に記憶想起、なつかしさ、心的距離が人らしさの知覚に与える影響についてのパス解析の結果を示した。なつかしい記憶の想起はなつかしさの喚起や、対象との心的距離を縮めることを介して、対象の人らしさの知覚を促進することが示された。

Figure 2. 記憶想起、なつかしさ、心的距離と人らしさの知覚のパス図 (数値は標準化係数)

考 察

本研究の結果、対象とのなつかしい記憶の想起は対象への人らしさの知覚を促進すること、および、その効果は、なつかしい気分や対象との心的距離の近さを媒介することが明らかとなった。先行研究ではなつかしい記憶が社会的つながりの感覚を促進することが示されているが、特定の対象についてのなつかしい記憶には対象との社会的つながりの感覚を強めることが本研究から示された。また、人らしさの知覚が促進されるのは、社会的つながりが欠如した場合だけではなく (Epley et al., 2008)、社会的つながりを感じる対象には人らしさを知覚しやすくなることが示唆される。

(Hiroko NAKAMURA, Jun KAWAGUCHI)